

SSNの活動報告（2008～2012年）

SSN担当：佐口美智子

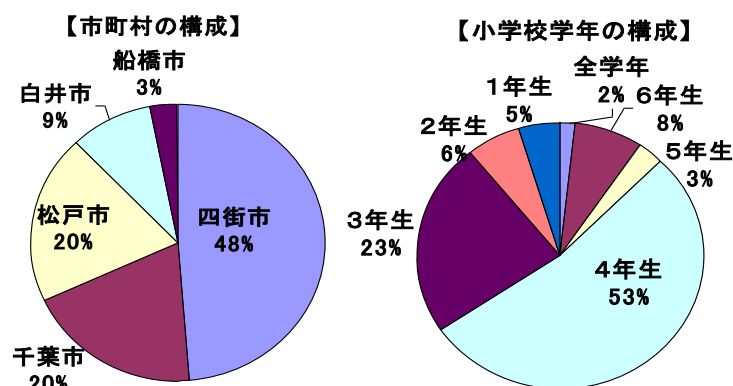
SSNの活動実施報告書をお送りいただき集計する担当をしています。皆様にはお忙しい中ご協力をいただきまして、ありがとうございます。2012年は66件の自然観察を支援しました。今年活動を始めてから13年目になります。SSN発足の経緯を日本自然保護協会から発行の『自然保護』2008年3,4月号に河添さんがお書きになられた文章の抜粋で振り返り、さらに最近の活動状況について紹介します。

千葉県自然観察指導員協議会では、有志で「小学校自然観察支援ネットワーク」を組織し、約120名の指導員が県内の小学校に出向き、自然観察を支援しています。小学校自然観察支援ネットワーク（以下、SSN）は、2000年から活動し、小学校をはじめ、幼稚園や中学校の自然観察会の支援、教職員の研修会の講師などを行っています。以前は、一部の指導員が、学校からの依頼に個人で対応して、自然観察の支援や指導をしていました。あるとき、新しい指導員を誘い、児童10人ずつの小さいグループに分けて指導したところ、指導員にも学校にも大変好評でした。一人よりもチームで対応するほうが効果的だと実感したので、ネットワークを立ち上げ、活動を続けています。

最近5年間の実施状況

年	実施回数 (回)	参加児童数 (人)	市町村数	保育所(園) (回)	小学校数 (回)	その他 (回)	参加指導員 (人)
2008年	72	4236	9	6	58	8	381
2009年	72	4309	7	3	65	4	362
2010年	67	4415	5	3	61	3	336
2011年	63 (震災)	3813	5	3	57	3	301
2012年	66	3734	5	5	59	2	286

2012年の実施状況



2012年は、過去5年以上継続している学校がほとんどでした。

継続依頼の要因を分析すると、自然が豊かな観察フィールドが近くにあることがあげられます。指導員もほとんどが同じ顔ぶれであり、支援方法の研鑽、用具や材料の周到な準備、チームワークのよい運営などの指導員の活動に接して、依頼者が強い信頼を寄せていることが報告書からわかりました。子ども達は郷土の自然の素晴らしさだけでなく、指導員の活動する姿から、自然保護の具体的な方法を学んでいるようです。

今後もこの活動を継続していくには新しい指導員の養成が不可欠だと感じています。